

1 児童の状況及び実態を踏まえた課題

国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を明確に伝えたり、相手の話を最後まで聞いて内容を理解したりすること。</li> <li>・登場人物の気持ちの変化や、物語の背景を深く読み取ること。</li> <li>・自分の考えや経験を整理し、分かりやすくまとめた文章を書くこと。</li> <li>・漢字を正しく読んだり、書いたりすること。</li> </ul>
社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、見通しをもって解決すること。</li> <li>・地図記号や方位記号を使って、身の回りの地域を読み取る力を身に付けること。</li> </ul>
算数科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の答えを出すだけでなく、計算の仕組みや原理を理解すること。</li> <li>・文章題から必要な情報を見付け出し、適切な計算方法を判断して立式すること。</li> <li>・長さや重さなどの単位を正しく理解し、日常生活の中で活用すること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の目的を理解し、結果を正確に記録・整理すること。</li> <li>・観察や実験の結果から、物事の因果関係や法則性を見いだすこと。</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を明確に伝えたり、相手の話を最後まで聞いて内容を理解したりする力</li> <li>・登場人物の気持ちの変化や、物語の背景を深く読み取る力</li> <li>・自分の考えや経験を整理し、分かりやすくまとめた文章を書く力</li> <li>・漢字を正しく読んだり、書いたりすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えと自分の考えを比較検討する機会を増やし、自分の考えを深め、さらに広げられるようにする。</li> <li>・物語の中で、登場人物の気持ちを表す言葉や、その行動の理由を示す言葉を探し、理解を深める。</li> <li>・小論文の書き方の型や原稿用紙の使い方を身に付け、文章を書く機会を増やす。</li> <li>・毎週金曜日に漢字小テストを実施する。また、まとめ50問テストを合格点に達するまで再テストを実施する。紙のドリルとタブレットを併用して練習回数を増やし、既習の漢字の定着を図る。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、見通しをもって解決する力</li> <li>・地図記号や方位記号を使って、身の回りの地域を読み取る力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入時に地図や写真、動画など視覚的分かりやすい教材を活用し、児童が興味関心をもって主体的に学習問題や学習計画を立てるようにする。</li> <li>・授業の導入で地図帳を活用する機会を増やし、様々な調べ方を身に付けるようにする。また、プレテストを実施して問題の形式に慣れるようにする。</li> </ul>

算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の答えを出すだけでなく、計算の仕組みや原理を理解すること。</li> <li>・文章題から必要な情報を見付け出し、適切な計算方法を判断して立式すること。</li> <li>・長さや重さなどの単位を正しく理解し、日常生活の中で活用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙のドリルとタブレットを併用して学習する機会を増やし、知識の定着を図る。</li> <li>・「なぜこの式になるのか」「どうしてこの答えが出たのか」を自分の言葉で説明できるようにする。</li> <li>・文章題を「情報を読み取る」「式を立てる」「計算する」のステップに分けて指導する。</li> <li>・日常の具体的な場面を想定して問題を出し、生活と結び付けられるようにする。</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の目的を理解し、結果を正確に記録・整理すること。</li> <li>・観察や実験の結果から、物事の因果関係や法則性を見いだすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験を始める前に、「何を知りたいのか」「どうすればそれがわかるのか」といった目的を話し合い、活動の意図を明確にする。</li> <li>・タブレット端末で観察対象を撮影し、記録を整理する。</li> <li>・活動の前に予想を立て、実際の結果と比較する。また、グループで観察結果や考察を共有し、多角的な視点から因果関係や法則性を見出す。</li> </ul>